



発行元：
株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113
〒496-0036
代表TEL:(0567)26-3921
FAX:(0567)26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

介護保険 ~ 4月からの法改正について ~ / S・O・S

平成24年4月から介護保険制度が改正されます。今までも介護保険制度の改正は行われていますが、今年の改正は、利用者さんにとっても、事業所にとっても、変化の多い改正になります。その一部を紹介します。

< 訪問介護 >

身体介護・・・これまでの30分単位毎の身体介護に加え、20分未満の訪問時間帯が新しく設置されました。夜間や深夜の短時間訪問や1日に何度かの巡回や随時対応を望む人を支援するためです。
生活援助・・・これまで、30分単位だったものが、45分を区切りとする時間区分に分けられます。また、身体介護に続けて生活援助を行う場合、その時間が20分、45分、70分と分けられます。

< 通所介護(デイサービス) >

家族介護者への支援の観点から時間区分が見直され、より長時間のサービス提供が可能になりました。また、機能訓練や同一建物に所在する利用者さんの送迎等、利用者さんに応じた加算・減算が設定されました。

< 小規模多機能型居宅介護 >

基本的な考え方や単位数に変更はありません。より医療面での充実を図るため、訪問看護事業所との複合型サービスが新しい地域密着型サービスとして加わりました。

< その他 >

所定の研修を受けたヘルパーは、たんの吸引等の行為ができるようになります。地域区分の変更があり、これまで1単位10円で計算されていた利用料に地域区分加算が上乘せされます。他にも人員配置の変更など多くの変更があります。

法改正は、より多くの利用者さんに対し、限られた人材で効果的なサービスを提供するため、限られた財政を有効に使うよう見直されたものです。しかし、個々の利用者さんにとっては、分かりにくかったり、使いにくかったり、慣れるまでに時間がかかるかも知れません。不明な点はケアマネさんや事業所に質問して下さい。利用者の方には変更した重要事項説明書を持参し、責任者から説明させて頂く予定です。< A・M >

< 通所介護の変更点 >

改正前 2 3 4 5 6 7 8 9h

				4~6h	6~8h			
--	--	--	--	------	------	--	--	--

改正後 2 3 4 5 6 7 8 9h

		3~5h	5~7h	7~9h				
--	--	------	------	------	--	--	--	--

増築棟の完成を目前にして / S・O・S

昨年より工事が続いていた増築棟も3月中旬頃には完成しそうです。4月1日より新しい入居者を迎え入れることができるよう消防設備や官公庁への書類手続き等、手落ちの無いようにと気忙しい日々が続いています。先日、愛宕の家家族懇談会を開催し、参加された方々にも新しい部屋を見て頂きました。すでに入居されてみえる方々にも、改めて部屋の希望を問いかけ、少しでも入居者さんの状態(心身・生活様式)に合った環境を提供できればと考えています。入居者さんにも個々の個性があり、お互いがうまく折り合いをつけていけるようにする上で住環境は非常に重要です。聴力・視力・脚力、そして認知力も含め、適した場所と組み合わせを考えるのが穏やかな日々の源です。



増築1階部分には喫茶サロン部分を設け、地域の人も気軽に立ち寄れるようにしました。少子高齢化が進むにつれ、介護や子育ての問題は他人事ではありません。色んな人と関わることで、「あたごサロン」が地域社会の絆を紡ぐ役目を果たせればという期待を抱いて...とは言え、現実はなかなか厳しいですね。4月以降、介護保険制度の改正もあり、一体全体、どんな展開になっていくのやら...苦労ばかり増えそうです。< Y・I >

3月の利用状況と行事予定

ナイス・ケア(定員なし)
...新規サービス大歓迎
愛宕の家(定員10名)
...入居者10名
つしま紹介所
...新規紹介者様大歓迎
ナイス・ホーム(定員17名)
...登録者16名
ナイス・デイ(定員10名)

日	月	火	水	木	金	土
8	8	10	6	9	9	9

(数字は定期のご利用者数)

募集中 満員
お気軽にお問い合わせ下さい

3月の予定

10日(土): 外食DAY
13日(火): ナイス・ホーム
運営推進会議
20日(火): 防災訓練

看護師コーナー / ~ 誤嚥・嚥下障害 ~ 日々関わる中での疑問や不安を少しでも解決できたなら番外編

胃瘻などの経管栄養、嚥下食や離乳食、自分達の食、それらが本当に満たされること=生きること...と何気なく書いた前回の通信。その後、胃瘻による経管栄養をH21年からしていた入居者の方が亡くなられた。「経管栄養」という方法を選択するかしないか、家族は悩む。そして、経管栄養を選択した後も、家族の悩みは続くことが多い。今まであまり経管栄養についての意味を考えることはなかった。「食べられないから胃瘻」、それを選択するかしないかは家族や本人の自由、そして看護師は決められた栄養量を注入し、合併症がないか観察する。今回、亡くなられた方は経管栄養にして丸3年、医療を提供する側として、ちゃんと対応できていたのだろうか。時間がきたら栄養だけ入れられる、生きていて何もいいことはない...と思うことはなかったのだろうか。胃瘻を使って少しでも機能の回復を図り、本人や家族が幸せに過ごせる時間を作れたのだろうか。

これからも経管栄養を必要とする方やその家族との関わりは増えていくだろう。亡くなられてからでは遅いけれど、いつも看取りをさせてもらうことで、自分の看護を振り返る機会を与えてもらう。今回改めて、経管栄養を選択した本人や家族が、「幸せだった」と感じられる看護を提供できる施設でありたいと思った。< M・T >

家族懇談会 開催 / 愛宕の家

2月25日、4家族6名、ケアマネジャー3名の参加を得て、家族懇談会が開催されました。看護師を中心に、入居者の主な出来事、転倒事故や身体状態の変化、人間関係の様子、特に医療的な処置が必要な方についての状態等が報告されました。また、昨年12月に県高齢福祉課の立ち入り調査が実施された時の内容についても報告されました。増築後の定員の変更と利用料金の設定の基準作りの検討も話し合われました。



報告としてはスプリンクラーと自動火災報知機が設置されたことなど盛りだくさんの内容でした。参加者それぞれからは、前向きな意見を頂きました。< Y・I >

Kさん ありがとう / 愛宕の家

2月の初旬に入居者のKさんが逝かれました。横になっている時間の多い方でしたが、体調の良い日は訪問スタッフが何度か離床をし、穏やかに過ごされていました。初冬の暖かい日は窓際で車椅子のままラジオを聞きながら日向ぼっこをしていた姿がいまだに思い出されます。スタッフが声をかける絶妙にユーモラスな会話の中で、声は発しなくても自分の意志をきちんと伝えているKさんの姿を見て、微笑ましくも嬉しい思いを何度もさせてもらいました。常々、私個人の考えとして、「介護される利用者さんは、介護によって多少なりとも心身に苦痛を伴うのではないかと自問自答するようになっていました。Kさんは私達の不手際や至らなさに不満もおっしゃらず、最後まで静かに過ごされました。その優しさ、強さに感謝しています。< N・S >

“工作教室さくら” 開校していま~す / ナイス・キッズ

ナイス・キッズでは1月から毎週土曜日、桜井先生による『工作教室』が開かれています。自分たちでお話を考えて作る紙芝居や、キラキラのシールを貼って作った小物入れなどは、どれもみんな力作揃い。固定観念にとらわれない、子供の発想力ってすごい。巧い・下手に拘わらず、創造力をフルに使いながら完成させていく様子は、とても頼もしい限り。どんな経験も将来絶対に役に立つはず。たくましくなっていく彼等を見守りたいと思う。< K・T >



編集後記

「隣の芝生は青い」という言葉の通り、自分と周りを比較して、うらやましいなあと感じたり、悲観したり、優越感に浸ったりってすることはありませんか？一人ひとりの顔が違うように、考え方も年の取り方も人それぞれなのに、周りを気にしてしまうのは私だけではないはず...。先日、“自分の存在や価値を自分が認めることで、他人の考えや受け入れることが出来る”と教わりました。感情で受け入れず、物事をありのままに受け入れられるようになりたいです。< A・M >